



個人

法人

図1 タクシー事業者数の推移(法人・個人)  
出所) 国土交通省「陸運統計要覧」「交通関連統計資料集」

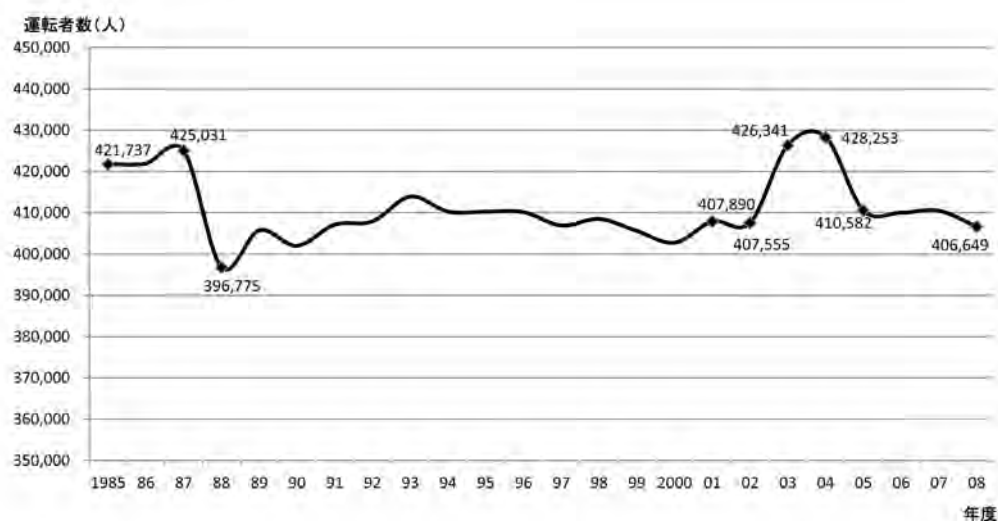


図2 法人及び個人タクシー運転者数の推移  
出所) 国土交通省「陸運統計要覧」「交通関連統計資料集」

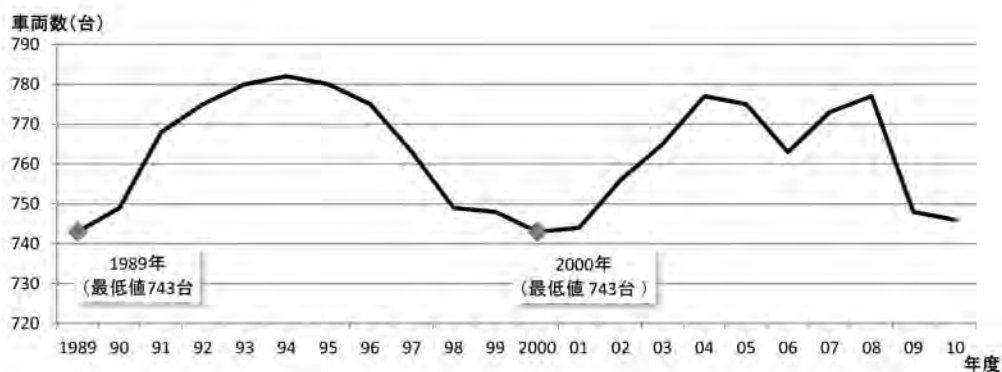


図3-1 鳥取県におけるタクシー車両数の推移  
出所) 国土交通省「陸運統計要覧」

図 3 - 2 愛媛県におけるタクシー車両数の推移  
出所) 国土交通省「陸運統計要覧」

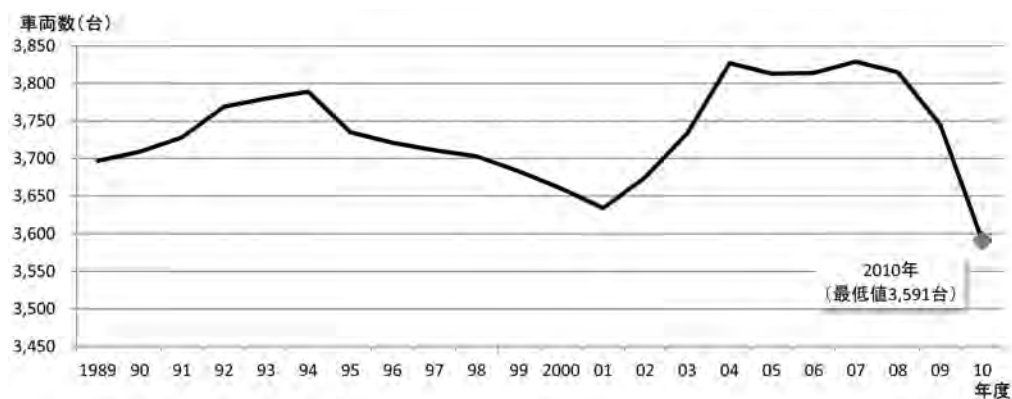


図 4 - 1 長崎県におけるタクシー車両数の推移  
出所) 国土交通省「陸運統計要覧」

図 4 - 2 熊本県におけるタクシー車両数の推移  
出所) 国土交通省「陸運統計要覧」

3. 運転者あたり

		63	1988		
	5	2008		4	979
6			1	3	
					5 2
16		1		6	1 6 2
			6	3	

運転者あたりタ

タ 運転


図5-2 車両あたり・運転者あたりのタクシー営業収入の推移  
 出所) 国土交通省「陸運統計要覧」「交通関連統計資料集」

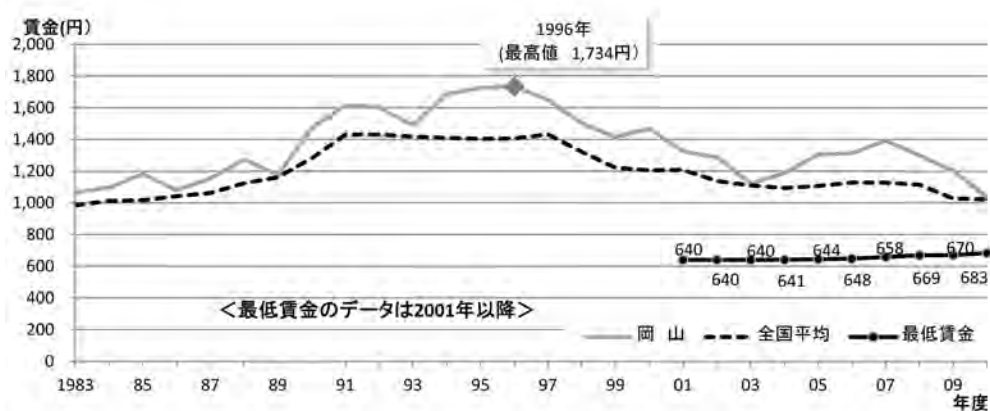


図6-1 岡山県のタクシー運転者の1時間あたり賃金の推移  
 出所) 厚生労働省「賃金構造基本統計調査」

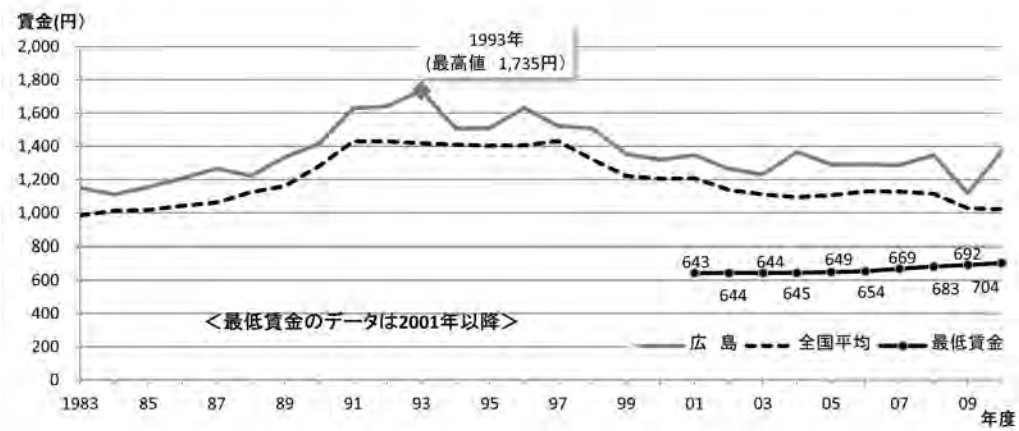


図6-2 広島県のタテマシの

図6- 県のタテマシの

2009

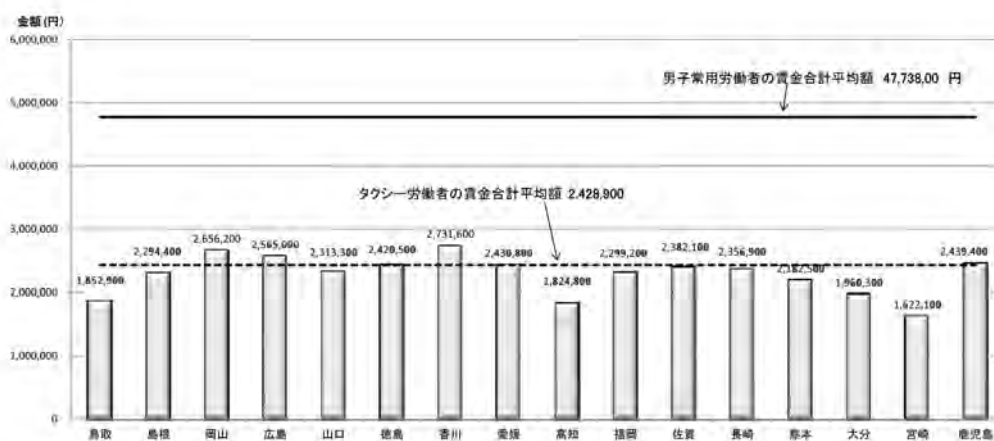
1

1

7

2

出所) 厚生労働省「賃金構造基本統計調査」



2

出所) 厚生労働省「賃金構造基本統計調査」

2009年のタクシー運転手の平均年齢及び勤続年数を図9-1、9-2に示す。中四国及び九州の16県におけるタクシー運転手の平均年齢は57.5歳であり、平均勤続年数は9.6年であった。

高齢化が進み、勤続年数が短いことが特徴である。高齢化の背景には給与が低いことも関係している。若い後継者が家庭を持ち、家族の生活を支えるには現在の給与水準では困難であるため、若年層の就業が定着しない。また、タクシー乗務で得られる給与を年金収入等で補える高年齢層の運転手も存在している。



### 参考文

1967  
101 1 34

1969  
485 10 26

1993  
42 4 1993 3  
135 158

2000  
2000 4 36 41

2005  
41 2005 10 12 15

2008  
53 2008  
10 20 22

2008  
51 2008  
4 18 20

2009  
54 2009 8 101 104